

令和6年度 奨学金募集案内

(日本学生支援機構分を除く)

書類提出期限を過ぎた奨学金情報も掲載しております。

| No | 奨学金の名称 | 学生課提出締切日 | 形態 | 金額 (月額) | 応募 人員 | 備考1 | 備考2 | 備考3 |
|----|--------------------------------------|---|----|--|-----------|---|---|--|
| 1 | 公益財団法人 シマノ財団 | R6.4.5 | 給与 | 25,000円 | 2名 | 現3年生対象 (令和6年度4月末時点で4年生) | ・学業・人物共に優秀で経済的理由により修学が困難な者。 ・年1回の奨学生交流会(大阪)等、当財団の行事に出席できる者及び3回の状況報告ができる者(交流会は9月中旬頃を予定) | 他奨学金との併給は差しつかえないが、合計額は10万円を超えない範囲とする。(10万円を多少超える場合は応相談) |
| 2 | ニコソ奨学金 | R6.3.22 | 給与 | 20,000円 (本科2、4年生) 30,000円 (ME専攻1年生) | 各学年 2名 | 令和6年4月時点で 本科2、4年生 ME専攻1年生対象 | 【本科2、4年生の申請条件】 成績要件: 令和5年度の成績が所属学科(本科の場合は所属コース)内の上位3分の1以内 家計基準: 令和5年度(令和4年の収入)の世帯総収入が年額730万円以下 ※高専機構全体で15名まで採用 | 【ME専攻1年生の申請条件】 成績要件: なし 家計基準: 令和5年度(令和4年の収入)の世帯総収入が年額70万円以下 ※高専機構全体で10名まで採用 |
| 3 | JEES・ジョンソン コントロールズ 高専生奨学金 | R6.4.10 | 給与 | 50,000円 | 1名 | R6.4月時点で、 4、5年生、専攻科1、2年生に在籍する日本人学生または私費留学生 | 給付期間は1年 R6.4.4までに学生担当にメールを送信してください。(書類データを返信します。) | 同協会の他の奨学金を受給せず、他の団体から受ける奨学金等の受給合計額が年60万円(月額5万円)以下の者(返済が必要な貸与奨学金、修学支援新制度は除く) 再応募不可 ※推薦書は学生課から新任、専攻科主任に依頼します。 |
| 4 | 中西奨学会 | R6.4.30 | 給与 | 20,000円 | 1名 | R6年度2年生より4年間 | 同一世帯の生計維持者の前年度の収入金額が税込500万円を超える方は出願不可。 | ※推薦書は4/5以降新任に依頼してください。 |
| 5 | レントオール奨学財団 | R6.4.12 | 給与 | 1~3年 20,000円 4年以上 30,000円 | | 機械・都市システム・建築学科生及び専攻科生 | 保護者が大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県または和歌山県に住所を有する者 | 他の奨学金との併給(貸与を除く)不可。(ただし、日本学生支援機構及び地方自治体の奨学金は除く。日本学生支援機構の4年生以上の修学支援新制度奨学金受給者は給付状況を勘案して選考。) ※R6.4月時点で1年生の者は、卒業中学校発行の調査書の提出が必要。 ※推薦書は4/5以降新任に依頼してください。 |
| 6 | 朝鮮奨学会 (1~5年生) | 直接応募 R6.4.10~ R6.5.10 | 給与 | 10,000円 | | 韓国人・朝鮮人学生 (韓国籍・朝鮮籍) | 給付期間は1年間。継続給付を希望する者は、再応募し審査を受ける必要あり。 | ・本会所定の諸行事に出席する必要あり |
| 7 | 朝鮮奨学会 (専攻科生) | 直接応募 R6.4.10~ R6.5.10 | 給与 | 25,000円 | | 韓国人・朝鮮人学生 (韓国籍・朝鮮籍) | 給付期間は1年間。 | ・本会所定の諸行事に出席する必要あり |
| 8 | 住友電工グループ社会 貢献基金 | R6.8.30 | 給与 | 30,000円 | 1名 | R6年度5年に在籍し、当基金が指定する大学の3年次への編入を希望する者 | 月額の給付型奨学金総額は10万円以下。併給先連絡要。 ※総額に修学支援新制度の給付型奨学金、貸与型奨学金は含まない。 | 給付期間 大学3年編入者: 令和7年4月から最長2年または3年 面接選考有り。 |
| 9 | 日本国土開発 未来研究財団 | R6.4.19 | 給与 | 25,000円 | | R6年4月入学生 R6.4.1現在で16歳以下 | 人物、学業ともに優秀で、経済的な理由により就学が困難であると認められる者 | 民間企業及び団体の給付型奨学金併用不可 |
| 10 | 一般財団法人 鶴見奨学研究助成財団 | R6.4.15 | 給与 | 20,000円 (本科4年生) 25,000円 (専攻科1年生) | | ・向学心に富み、学業優秀であり、かつ、品行方正であること。 ・実践的・創造的技術者を自覚する者。 | 書類の提出方法: 本人が書類を揃えて、当財団宛てにメールで提出。専攻科推薦書の提出が必須のため、学内で選考し承認後に、書類を渡します。 | 給付型奨学金との併用不可 |
| 11 | 寺浦奨学会 | R6.4.15 | 給与 | 45,000円 | 1名 | 経済的に学史的支弁が困難と認められる優秀な者。 | 寺浦奨学会の面接懇話会に参加できること。 令和6年6月15日(土)10時予定 | |
| 12 | 交通遺児育英会 (在学採用) | R6.12.9 | 貸与 | 2・3・4万円(1~3年) 4・5・6万円 (4・5年 専攻科生) より選択 | | 1~5年生、専攻科生 ※ 4・5年生、専攻科生は区分が異なるため、希望者は早めにお知らせください。 | 保護者が道路における交通事故で死亡又は重度の後遺障害者となった家庭の学生 | 貸与額のうち 1~3年 : 1万円は給付 4・5年・専攻科: 2万円は給付 |
| 13 | 日教弘高等学校等給付 奨学金 | R6.6.14 | 給与 | (年額) 50,000円 | 2名 | 1~3年生の学生対象 | ・人物・学業ともに良好で経済的理由から就学が困難な学生 ・令和5年の収入が保護者等全員で480万円未満 | |
| 14 | 山内健二記念奨学育英 基金 | R6.5.9 | 給与 | 30,000円 | 3名 | 1~3年生 | 世帯合計所得金額300万円以下 申請時点において、同一世帯に当基金受給者がいないこと | 前年度または中学3年時の少なくともどちらか一方の成績の平均が5段階評定換算4.3以上 |
| 15 | ヘイシン奨学金 | 直接応募 R6.10.31 | 給与 | 50,000円 | | 2年生、3年生、4年生 | ※2024年4月時点で、国公立の工業高等専門学校に在籍しており、経済上の理由で就学が困難な者。 ※8/1~応募開始。学校を通さず、各個人で申請(郵送)してください。 | 募集要項が必要な場合は、学生課に取りに来てください。 |
| 16 | あしなが育英会 (在学採用4、5年生) | R6.5.1 | 給与 | 30,000円 | | 4~5年生 | 保護者等が病気や災害(交通事故を除く)もしくは自死などで死亡、または保護者が1~5歳の障がい認定を受けている家庭。 | 2023年度から制度変更により給付のみ。 |
| 17 | 兵庫県高等学校教育振 興会奨学資金 | R6.5.2 | 貸与 | 自宅: 18,000円 自宅外: 23,000円 | | 兵庫県内に保護者が在住である1~5年生 | 日本学生支援機構奨学金、母子及び父子並びに寡婦福祉法による修学資金等との併用不可 | 希望者は、通学交通費、電動アシスト自転車購入費、タブレット端末等購入費も貸与可(但し、本会の奨学生に限る) |
| 18 | 関育英奨学会 | R6.5.2 | 貸与 | 20,000円 | 1~2名 | 2~5年生 | 人物・学業ともに優秀かつ健康でありながら、学費の支弁が困難と認められる者。 | 貸与期間: 2024年4月から正規最長修業期間 |
| 19 | 公益財団法人 志・建 設技術人材育成財団 | 直接応募 エントリー 5/28(火) 書類提出5/31(金) 消印有効 | 給与 | (年額) 50万円 (前後期毎25万円) | | 専攻科1年生(原則) | ・兵庫県出身者 ・卒業後、兵庫県内の建設系企業・官公庁等に就職を希望する者。 ※学校を通さず、各自応募してください。 | ・高等専門学校専攻科は2年を上限。 ・他の給付奨学金と併給可。 ・毎年開催する奨学金授与式、セミナー(2回)及び現場研修会に出席すること。 |
| 20 | 大阪府育英会 (1~5年次) | R6.5.7 | 貸与 | 年額100,000円 +授業料まで可 | | 1~5年生 保護者が大阪府内在住 | 所得判定額が251,100円未満(令和5年度)の市町村民税の課税標準額が6%~市町村民税の調整控除の額=所得判定額) ※4人世帯(父母、子供二人)の場合、目安として年収が800万円未満 | 貸与金額は年額100,000円+授業料(授業料免除額を差し引いた額)までの希望する額を貸与可。 |
| 21 | 三木市教育委員会奨学 金 | R6.6.3 | 給与 | 6,000円 | | 令和6年4月1日以前から本人又は本人の生計を主として維持する方が、三木市に住民登録をしていること。 | ・ひとり親家庭、失業家庭、生活保護家庭又は疾病その他特別な事情により経済的に困窮状態にあると認められる家庭 ・家族構成に応じた所得制限有り (例: 令和5年の所得額が世帯人員4人の場合293万円以下) | 期間1年間 |
| 22 | 高砂市奨学金 | R6.5.20 | 給与 | 8,000円 | | 高砂市に在住 | ①生活保護世帯または②総所得金額が定められた基準以下または③以外以外の世帯で世帯主の死亡等により経済的に修学が困難である者 例: 令和5年の家族全員の所得金額の合計が世帯人員4人の場合1,505,000円未満 | |
| 23 | フソウ育英会 (予約) | R6.5.30 | 給与 | 50,000円 | | ①2いづれかに該当する者 ①次年度、本校で4年生に進級予定または専攻科進学予定の者 ②次年度に、日本国内の四年制大学2年次または3年次編入学を希望している者。 ※ただし、令和7年度月入生または連続時点で20歳以下であること。 | 給付期間: 進学・進級月から卒業月までの正規の修学期間。(最大4年間) | 学力基準: 前年度の全履修科目の評定平均値が3.0以上であること。ただし、入学または進級する大学等に対して、学修意欲を有する判断(作文等の評価)による評価は考慮する。 (例)今年度3年生で来年度4年生に進級する場合は、2年次の成績評価で判断。 家計基準: 世帯の所得金額は世帯基準の一つではあるが、応募に当たっては所得金額による制限はなし。 |
| 24 | 公益財団法人朝日ウ ッドテック財団 | R6.5.30 | 給与 | 25,000円 | 1名 | ・4年生対象 ・奨学生本人が近畿地域(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)に居住していること。 | 学力基準(目安): 1~3年生までで取得した全単位数のうち、優の評価を受けた単位数の合計が60%以上を占めること。 家計基準(目安): 日本学生支援機構の第一種奨学金の家計基準に準ずる。 | ・志趣原因、学力優秀、かつ特に経済的援助を必要とする者。 ・他の奨学金との重複について制限はないが、給付奨学金については他の団体からの奨学金の給付を受けていない者を優先する。 |
| 25 | 関電工奨学金 | R6.5.31 | 給与 | 20,000円 | 1名 | 電気情報工学科・都市システム工学科・建築学科の3年生、4年生 | ・家計基準: 令和5年4月から令和6年3月までの世帯の総収入が年額730万円以下であること。 ・他の奨学金との併給可。 ・給付期間は1年間。 | 1年次から申請時点まで、継続して学校が公認する同一の「部・同好会・課外活動等」を行っている者。 |
| 26 | JEES・住友金属山 地城賞奨学金 | R6.7.26 | 給与 | 100,000円 | 2名 | ・R6.4月時点で、本科4年生に在籍する日本人学生または日本への永住を許可されている者 ・東京都多摩地区、兵庫県、愛媛県、鹿児島県の持続的発展に貢献する意欲がある者。 | ・給付期間: R6.4から在籍課程の修了まで。高専本科から同一高専の専攻科へ進学する場合は専攻科修了まで支給を継続する。 ・他奨学金との併給可。 | ※希望する場合は、願書(様式1)をデータでメール送付します。推薦書については、学生課から担任へ依頼します。 |
| 27 | 日工記念事業団 | R6.6.6 | 給与 | 20,000円 | 1名 | 1年生対象 | 給付期間: 5年生まで | 家計については、令和5年度の所得金額により判定 |
| 28 | 芦屋市奨学金 | R6.6.27 | 給与 | 課税世帯 5,000円 | | 芦屋市内に保護者が在住 ※1~3年生の学生対象 | 家族構成に応じた所得制限有り(家計急変発生後1年間の所得額が選考基準額以下になる見込である世帯を含む) 例: 令和5年の所得額が世帯人員4人の場合309万円以下 | 生活保護受給世帯、兵庫県高校生等奨学給付金制度による給付を受けることのできる方は対象外 |
| 29 | 日新電機グループ社会 貢献基金 | R6.8.7 | 給与 | 30,000円 | 1名 | 電気情報工学科の所属し、2025年4月に専攻科1年次に進学予定の者 | 給付期間: 原則2年間 給付時期: 4月末、7月末、10月末、1月末に3ヶ月まとめて振込。 | ・経済的困難があり、学業優秀な者 【研究分野】 系統連系技術 大容量電力変換・制御技術 エネルギー管理の最適化制御技術 に関わる研究をしている者 |
| 30 | ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラー シップ・プログラム | R6.10.1 | 給与 | (年額) 500,000円 | | 次年度に4年生に進級する者 | 下記の一つ以上に該当すること。 ①保護者が死亡。 ②単親家庭である。(母子家庭など) ③児童養護施設などの児童福祉施設・社会的養護の施設に暮らしている。 ④里親家庭に暮らしている。 ⑤生活保護世帯に暮らしている。 | ・年間を通じて開催されるプログラムに参加する意志があり、プログラム参加に際し健康上の支障がないこと。 ・2025年3月に開催するオリエンテーション・プログラムへの参加を確約できること。 ・オンラインプログラムに参加するための安定したインターネット環境を自身の責任で準備できること。 |
| 31 | アフラック小児がん経 験者・がん遺児奨学金 制度 | R7.2.7 | 給与 | 20,000円 | | 18歳未満で小児がんを発症した小児がん経験者またはがんにより主たる生計維持者を失った遺児。(一部成績基準あり。) | | 財団が定める所定の給与所得を超えない世帯 例: 4人家族の場合 給与収入599万円以下 給与所得以外の所得245万円以下 |